

4-3-5.データの受け渡し—GET—

データの受け渡し—GET—

はじめに

なんらかのホームページを見たいとき、検索して送信すればホームページが表示されます。
何の変哲もない動作ですが、実はこの数秒間の間に、

1. Webクライアントのアドレスバーに、"http://○○○○.com" が入力される。
2. Webクライアントは、"○○○○.com" のIPアドレスを調べる。
3. Webクライアントは、"○○○○.com" にあるホームページの要求を出す。
4. 要求はインターネットを伝わり、"○○○○.com" のWebサーバーに到達する。
5. 要求を受け取ったWebサーバーはそのハードディスクからWebページを探す。
6. サーバーはそのWebページを取得し、それをWebクライアントに返す。
7. WebクライアントがWebページを表示する。

という処理が動いています。

このwikiページを閲覧するときにも行われています。

WebクライアントとWebサーバーの間で行われているやり取りについて学んでいきましょう。

Step1: 概念を知る

HTTP (Hypertext Transfer Protocol)

WebクライアントとWebサーバー間の、要求（リクエスト）と応答（レスポンス）を制御している通信規格。

WebクライアントとWebサーバー間通信の約束事（プロトコル）。

GET (メソッド)

HTTPのメソッドの一つ。

ホームページのサーバから情報を取得してくる時に使用する。

値をリクエストURLの後に付け加えてサーバに送る。

単にGETといったり、GETメソッドと呼ばれることがある。

Step2: 使い方を知る

URL

突然ですが、以下のようなURLを見たことがあるでしょうか？

ログイン用URL（パスワードを入力して専用ページにログインする）
<https://oooo.jp/login.php?lang=ja&args=>

見たことがないという人は、様々なホームページを閲覧しているときに意識してみましょう。

Webクライアントや設定によっても変わりますが、だいたい画面の上部か左下に表示されています。

どのような構成になっているかと言いますと、

<https://oooo.jp/login.php?lang=ja&args=>
 プロトコル :// ドメイン / 表示ファイル名 ? パラメータ = データ & パラメータ = なし
 ※わかりやすくするためにスペースを入れています。

となっていて、どのURLもだいたいこのような構成になっています。
今回取り上げる部分は、?以降の **パラメータ** と **データ** の部分です。

パラメータ、データ

WebクライアントからWebサーバへ、パラメータにデータを入れて渡すことによって、リクエストを行います。
渡されたデータによってWebサーバは何らかのレスポンスを行います。
ログイン用URLを見ると、**パラメータ = なし** となっている部分がありました。
なし の部分にデータを入れてパラメータとして渡すと、データに誤りがなければログインが成功します。

```
https://oooo.jp/login.php?lang=ja&args=password
```

パラメータ部分に直接データを入力してリクエストする方法が **GET送信** です。

GET送信の注意点

GET送信の方法は、パラメータが明示的というのが特徴です。
そのため以下のようなメリット、デメリットがあります。

・メリット

パラメータを見れば、ページの遷移や、行われている処理がわかる。

・デメリット

パスワードなど個人情報であっても筒抜けになってしまう。

パラメータの取得

パラメータはソースコード上で取り出すことができます。
HttpServletRequestインターフェースの、**requestオブジェクト** を使用してパラメータを読み込みます。
パラメータを読み込むには、**getParameter ()メソッド** を使用します。

```
String value = request.getParameter("args");
```

課題

提出課題はありませんので、一通り学習が終わったら次の章に進んで下さい。

最終更新日時: 2022年 09月 10日(土曜日) 06:17